

登録コード	E7160400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	伏木 久始	
英文授業名	Graduation Thesis					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	聴講生も認めている。
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	研究倫理を磨き、人権意識を高めることができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	自らの研究テーマを選択し、それについて研究課題を更新し続け、研究目的に即した研究活動を自己調整的に実現できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働、キャリア							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	・ 研究室所属学生が参加するゼミ形式の合同カンファレンスと、一人ずつの個人指導によるカンファレンスの二本立てとなる。合同カンファレンスでは、各自のテーマ研究を段階的にレポート報告し合い、相互評価し合う。お互いの研究テーマや調査内容に関する疑問などについて議論し合い、研究成果をまとめるプロセスを共有する。マンツーマンの論文指導では、それぞれのテーマ研究に応じた具体的な指導を行う。 ・ なお、授業担当者は小学校・中学校・高校での教職経験を有し、現在も頻繁に学校現場の校内研修をサポートしているので、学校現場の実際の状況を解説しながら講義を行う。							
(5)授業計画	・ 毎月の合同カンファレンスと隔週 1 回程度の個人指導を基本として、不定期に集合したり、可能であれば合宿を組んで集中指導したりしながら、研究論文執筆の指導を行う。							
(6)成績評価の方法	・ 卒業論文の質と取り組む姿勢を総合的に評価する。 伏木研究室の「論文の書き方」に即して評価する。							
(7)成績評価の基準	・ 卓越している…自ら設定したテーマの課題の解決に向けて計画を立案し、主体的に探究活動に取り組んで、考察を深めている。 ・ かなり上である…自ら設定したテーマの課題の解決に向けて取り組み、探究活動に取り組んで考察している。 ・ やや上にある…自ら設定したテーマの課題の解決に向けて探究活動に取り組んでいる。 ・ 水準にある…研究テーマに応じた調査方法を工夫し、課題解決に向けて努力している。							
(8)事前事後学習の内容	・ 進捗状況に応じて具体的な事前学習内容は変化するが、次時までにクリアさせておくべき課題を毎回与えておくので、それを達成させることが事前学習でもあり、事後学習の内容にもなる。							
(9)履修上の注意	・ 研究室の学生は必修とする。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・ 研究室内で共有しているGoogleドライブでの指導予約表に希望枠を入力してメール等で指導教員に連絡をすることで可能な限り相談や研究指導を受け付けている。 ・ メール (hfusegi@shinshu-u.ac.jp) でアポイントメントをとること。							
【教科書】	・ なし（必要に応じて文献を紹介する）							
【参考文献】	・ 適宜、ゼミおよび個人指導のなかで紹介する。							